

教育目標

【新宿区教育目標】

- 広い視野と、自らを律し互いを認め、思いやりの心をもつ人
- 地域の一員として、規範意識や公共の精神に基づき、社会の形成に進んで参画する人
- 個性や創造力が豊かで、自ら学び、考え、行動する人

【落合第六小学校教育目標】

- ☆明るい子 人格を尊重し合い、社会性豊かな子ども
- ☆たくましい子 心身共に健康で、ねばり強く行動する子ども
- ☆考える子 ものごとを深く考え、主体的に行動する子ども

社会的な課題

予測不能な未来
変化が大きい社会



教育課程特例

「みらい科」の創設

社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む教科

研究主題

楽しみに思える未来を創造する児童の育成
～「みらい科」の良さを教科学習に生かす～

目指す児童像

自分で考え、判断し、行動できる児童



研究内容

授業改善

自分で	・課題や解決方法が選択できる ・人や物、事など実生活との関わりのある学習テーマの設定 ・何度もやり直しができる場の設定や学習計画
考え、判断し	・既習事項と新しい知識の把握 ・たくさんの経験を基にした成果と課題の可視化 ・ふりかえりの工夫
行動できる	・個性が発揮できる場の設定

カリキュラムの見直し

- ・みらい科の創設
- ・60分授業の導入
- ・グラフィックレコーディングの導入
- ・個別最適化学習の導入
- ・国語科コース別学習の導入
- ・交換授業

肯定的・共感的な人間関係

- ・信じる
- ・認める
- ・良さに気づく
- ・寄り添う

教科学習

みらい科

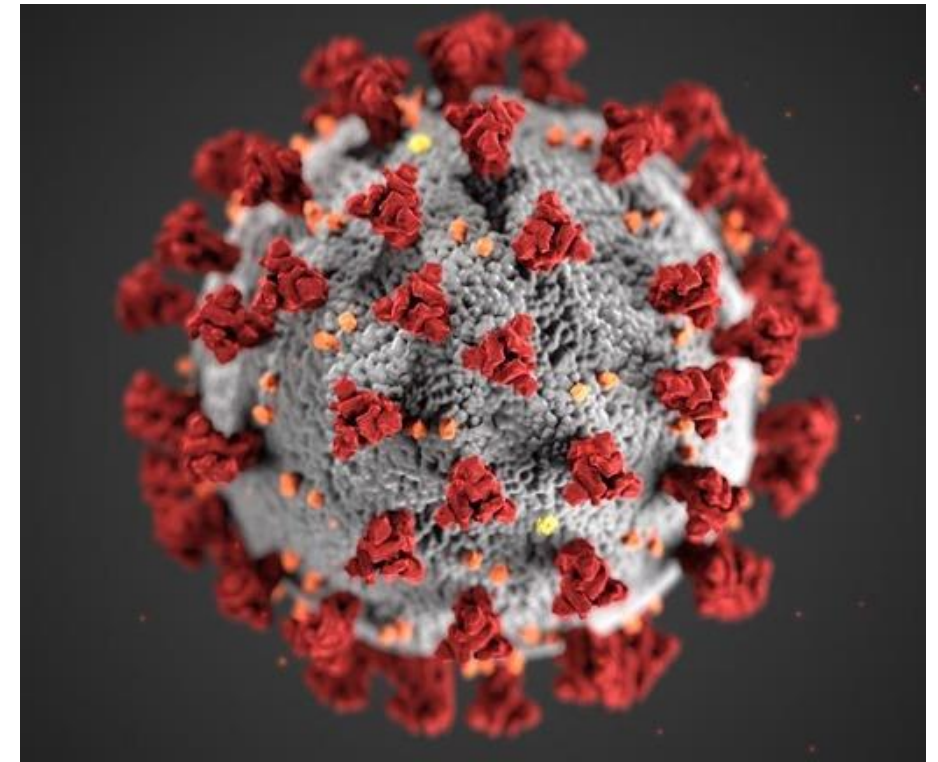
楽しみに思える未来を創造する児童の育成
～「みらい科」「教科学習」を通して～

Ⅰ. 研究主題設定の理由

(Ⅰ) 現代社会の要請から

Society 5.0とは

サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより
経済発展と社会的課題の解決を両立する
人間中心の**社会（Society）**



1. 研究主題設定の理由

(2) 本校の研究のあゆみから

△縦割り創造活動ではいきいきと活動している様子が見られるが、教科学習ではその主体性がなかなか発揮されていない。



みらい科と教科学習の双方において

「自分で考え、判断し、行動できる」

児童を育成していく

2. 「みらい科」

(1) みらい科の概要

社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む教科

【低学年】

国語 10時間 生活 20時間 特別活動 5時間 計 35時間

【中学年】

国語 10時間 総合的な学習の時間 30時間 特別活動 10時間 計 50時間

【高学年】

国語 10時間 社会 5時間 総合的な学習の時間 40時間 特別活動 10時間 計 65時間

2. 「みらい科」

②みらい科の内容

- ・ DASH Jr.
- ・ おちろく DASH (3～6年)
- ・ おちろく 班遠足総選挙
- ・ おちろく 班遠足
- ・ グラフィックレコーディング (4～6年)
- ・ オープンスクール

肯定的・共感的な人間関係

- ・信じる
- ・良さに気づく
- ・認める
- ・寄り添う

土台



【具体的な取り組みの例】

- ・結果より過程や取り組みへの評価を重視
- ・子供を信じて待つ姿勢
- ・子供の意見や判断の尊重
- ・相互評価できる場の設定
- ・外部から評価してもらえる場の設定
- ・様々な教員との関わり

- ・学びへの意欲の高まり
- ・互いの良さを生かした活動



手立て

- ・実生活と関わりのあるテーマの設定
- ・課題や解決方法の選択ができる学習計画
- ・何度もやり直しができる場の設定

授業改善①
自ら活動に取り組む



【具体的な取り組みの例】

- ・答えが一つではない「問い」や「テーマ」の設定
- ・身近な人・物・ことと関わるテーマ
- ・試行錯誤の見守りとそれを保障するゆとりのある学習計画・学習時間

- ・「まずはやってみよう」という挑戦する姿勢
- ・失敗してもやってみる姿勢
- ・「〇〇についてやってみたい」という思いを持つ



手立て

- ・ 思考・判断のための素地の醸成
- ・ 成果と課題の可視化
- ・ ふりかえりの工夫

授業の工夫②
考え、判断できる



【具体的な取り組みの例】

- ・ 既習事項と新しい知識の把握
- ・ 相手意識と目的意識の明確化
- ・ 体験活動の重視
- ・ 児童同士の協働的な学び
- ・ 思考の可視化（GR）
- ・ ふりかえりのタイミングや縦と横を意識したふりかえりの導入

- ・ 新しい価値（友達の良さ、学ぶことの意味など）に気付く。



手立て

- ・個性が発揮できる場の設定

【具体的な取り組みの例】

- ・外に発信できる機会の設定
- ・個性を生かすことができる活動の場の充実

授業の工夫③
行動できる

- ・価値観の広がり
- ・楽しさの質の高まり



- ・ 未来科の創設
- ・ 60分授業の導入
- ・ グラフィックレコーディングの導入
- ・ 国語科コース別学習の導入
- ・ 個別最適化学習の導入
- ・ 交換授業の実施

カリキュラムの
見直し

